

第 78 回「山形県内企業の景気動向調査」速報

(令和 6 年 2 月調査)

～景況感は 2 期ぶりに悪化。先行きは横ばい圏内～

【 調査の要旨 】

- **県内企業の業況**は、自社の業況判断を示す「自社の業況DI値（前年同期比）」が▲15.9（前回調査比 10.3 ポイント下落）と 2 期ぶりに悪化となった。「各種DI値（前年同期比）」をみると、「営業利益」は改善となった一方、「売上高」と「資金繰り」は悪化となり、「売上高」はマイナスに転じた。「人員・人手」は 3 期ぶりにプラス幅が縮小した。
- **業種別**に「自社の業況DI値（前年同期比）」をみると、建設業が▲30.1（前回調査比 19.4 ポイント下落）、製造業が▲15.8（前回調査比 7.9 ポイント下落）、卸・小売業が▲18.5（前回調査比 7.5 ポイント下落）、サービス業が 2.6（前回調査比 4.4 ポイント下落）と、すべての業種で悪化となった。
- **地域別**に「自社の業況DI値（前年同期比）」をみると、村山南部が▲12.6（前回調査比 13.7 ポイント下落）、村山北部が▲8.2（前回調査比 10.5 ポイント下落）、最上が▲13.1（前回調査比 5.4 ポイント下落）、置賜が▲27.0（前回調査比 22.6 ポイント下落）、庄内田川が▲17.9（前回調査比 5.5 ポイント下落）、庄内飽海が▲17.1（前回調査比 4.2 ポイント下落）と、すべての地域で悪化となった。村山南部、村山北部の 2 地域でDI値がマイナスに転じた。
- **先行き見通し**は「自社の業況DI値（前年同期比）」が▲15.4（今回調査比 0.5 ポイント上昇）とほぼ横ばいで推移する見込みとなっている。

【特別調査】

- **雇用調整**について尋ねたところ、全業種で見ると「実施している（した）」と回答した企業の割合は「残業規制」が 34.0%（昨年比 4.3 ポイント上昇）、「ワークシェアリング」が 13.2%（昨年比 3.2 ポイント上昇）、「従業員の削減」が 2.5%（昨年比 0.3 ポイント低下）、「従業員の中途採用」が 51.8%（昨年比 1.9 ポイント上昇）と、昨年に比べ、「残業規制」「ワークシェアリング」「従業員の中途採用」の割合は上昇し、「従業員の削減」の割合は低下した。
- **新卒者の採用状況**について尋ねたところ、採用すると答えた企業の割合は、全業種で見ると 39.7%（昨年調査比 4.3 ポイント低下）と 3 年ぶりに低下となった。

令和 6 年 3 月

株式会社 フィデア情報総研

目次

I.	県内企業の業況	1
1.	概況	1
2.	業種別の動向	2
(1)	業種別の概況	2
(2)	業種別DI値の動向	3
①	建設業	3
②	製造業	4
③	卸・小売業	5
④	サービス業	6
3.	地域別の動向	7
(1)	地域別の概況	7
(2)	地域別DI値の動向	8
①	村山南部	8
②	村山北部	9
③	最上	10
④	置賜	11
⑤	庄内田川	12
⑥	庄内飽海	13
II.	景気の天気予報図	14
III.	特別調査	15
1.	雇用調整について	15
2.	新卒者の採用状況について	17
<参考資料 I : 地域別・業種別回答率>		18
<参考資料 II : 調査の概要>		18

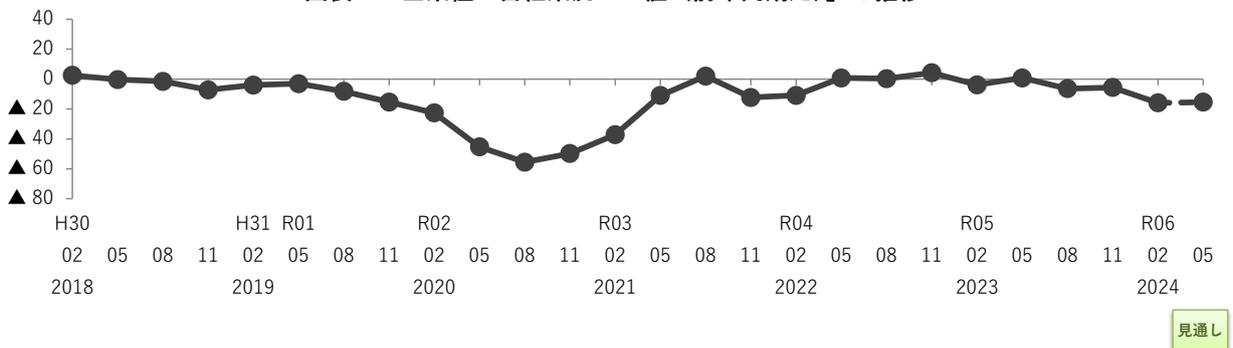
I. 県内企業の業況

1. 概況

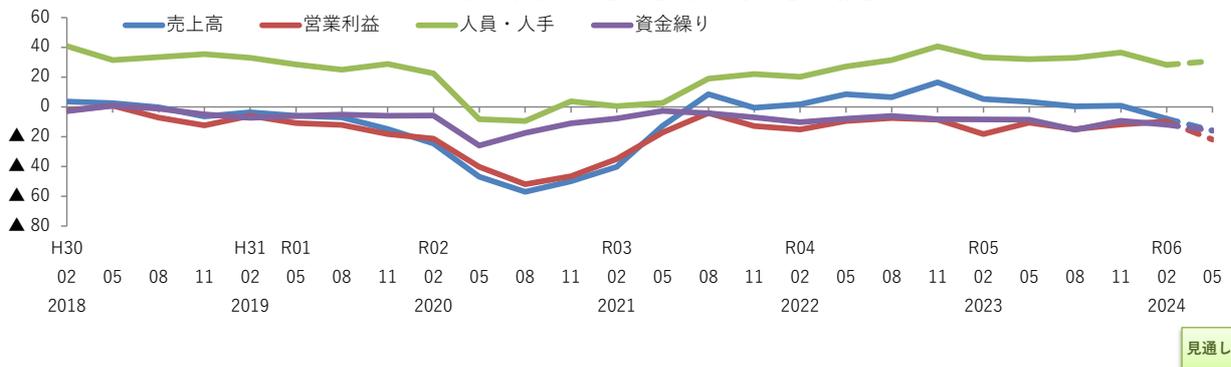
県内企業の業況は、自社の業況判断を示す「自社の業況DI値（前年同期比）」が▲15.9（前回調査比10.3ポイント下落）と2期ぶりに悪化となった。「各種DI値（前年同期比）」をみると、「営業利益」は改善となった一方、「売上高」と「資金繰り」は悪化となり、「売上高」はマイナスに転じた。「人員・人手」は3期ぶりにプラス幅が縮小した。

先行き見通しは、「自社の業況DI値（前年同期比）」が▲15.4（今回調査比0.5ポイント上昇）とほぼ横ばいで推移する見込みとなっている。円安の長期化等に起因する仕入価格の高騰をはじめ、人件費や光熱費などのコスト高による負担感は依然強く、総じてみれば景況マインドの持ち直しには停滞感がうかがえる。また、先行きに関しては、海外情勢や国内経済の動きに加えて、暖冬による天候不順や消費マインドの動向など、複合的に影響を注視していくべき状況を踏まえ、慎重姿勢は今後も続くものと思われる。

図表 1 全業種「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



図表 2 全業種「各種DI値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況DI値

山形県 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	人員 人手	資金 繰り
	全業種	前回調査比	前回調査予測				
R 05. 02 (n=391)	▲ 3.8	(▲ 8.0)	▲ 14.0	5.3	▲ 18.2	33.3	▲ 8.4
R 05. 05 (n=396)	0.8	(4.6)	▲ 19.2	3.5	▲ 10.6	32.1	▲ 8.5
R 05. 08 (n=373)	▲ 6.4	(▲ 7.2)	▲ 7.1	0.3	▲ 15.0	33.0	▲ 15.3
R 05. 11 (n=356)	▲ 5.6	(0.8)	▲ 6.4	0.8	▲ 11.8	36.5	▲ 9.3
R 06. 02 (n=365)	▲ 15.9	(▲ 10.3)	▲ 13.2	▲ 8.0	▲ 9.8	28.3	▲ 12.0
前回調査比	-	-	-	(▲ 8.8)	(2.0)	(▲ 8.2)	(▲ 2.7)
先行き見通し	▲ 15.4	-	-	▲ 15.9	▲ 21.9	30.9	▲ 15.9
今回調査比	(0.5)	-	-	(▲ 7.9)	(▲ 12.1)	(2.6)	(▲ 3.9)

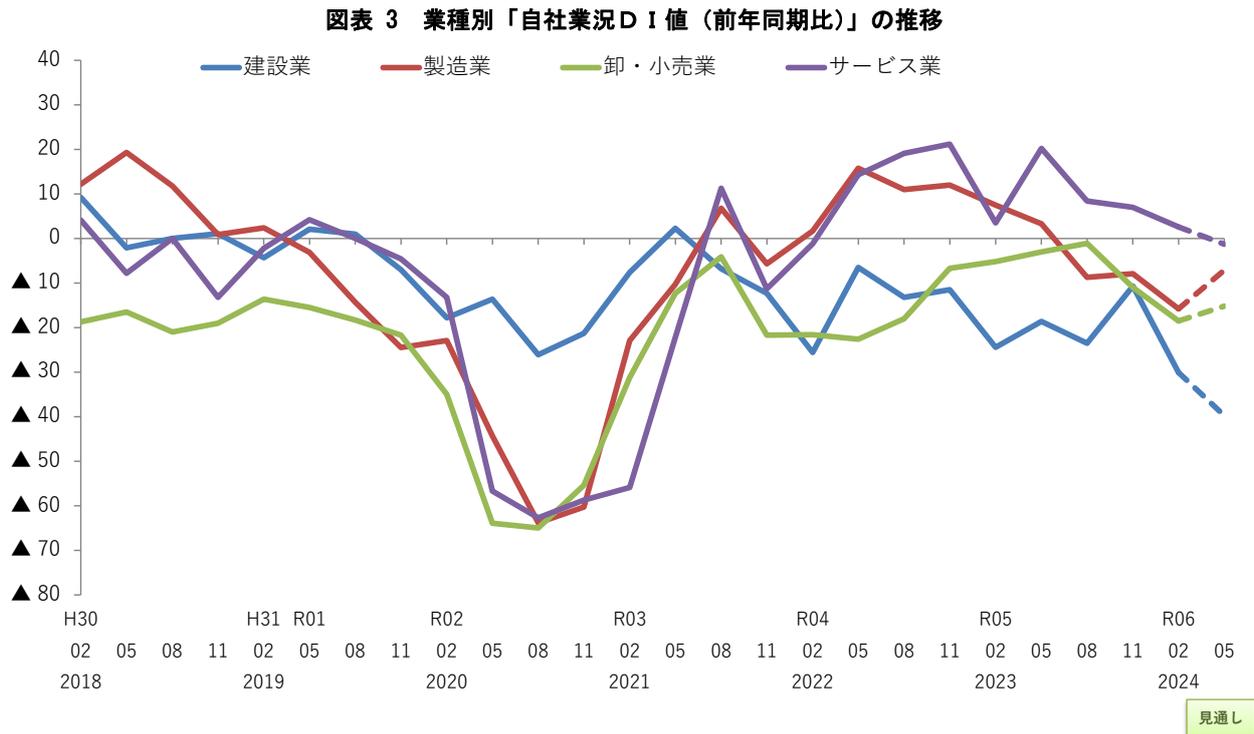
※「売上高」DI値は建設業の「完成工事高」を含んだ数値

2. 業種別の動向

(1) 業種別の概況

業種別に「自社の業況 D I 値（前年同期比）」をみると、建設業が▲30.1（前回調査比 19.4 ポイント下落）、製造業が▲15.8（前回調査比 7.9 ポイント下落）、卸・小売業が▲18.5（前回調査比 7.5 ポイント下落）、サービス業が 2.6（前回調査比 4.4 ポイント下落）と、すべての業種で悪化となった。

業況の先行き見通しは、製造業と卸・小売業で改善、建設業とサービス業で悪化の見込みとなっている。



前年同期比の自社業況 D I 値

業種別 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）				
	全業種	建設	製造	卸・小売	サービス
R 05. 02 (n=391)	▲ 3.8	▲ 24.4	7.5	▲ 5.2	3.5
R 05. 05 (n=396)	0.8	▲ 18.6	3.3	▲ 3.0	20.2
R 05. 08 (n=373)	▲ 6.4	▲ 23.5	▲ 8.7	▲ 1.1	8.4
R 05. 11 (n=356)	▲ 5.6	▲ 10.7	▲ 7.9	▲ 11.0	7.0
R 06. 02 (n=365)	▲ 15.9	▲ 30.1	▲ 15.8	▲ 18.5	2.6
前回調査比	(▲ 10.3)	(▲ 19.4)	(▲ 7.9)	(▲ 7.5)	(▲ 4.4)
先行き見通し	▲ 15.4	▲ 39.8	▲ 7.1	▲ 15.2	▲ 1.3
今回調査比	(0.5)	(▲ 9.7)	(8.7)	(3.3)	(▲ 3.9)

(2) 業種別 D I 値の動向

① 建設業

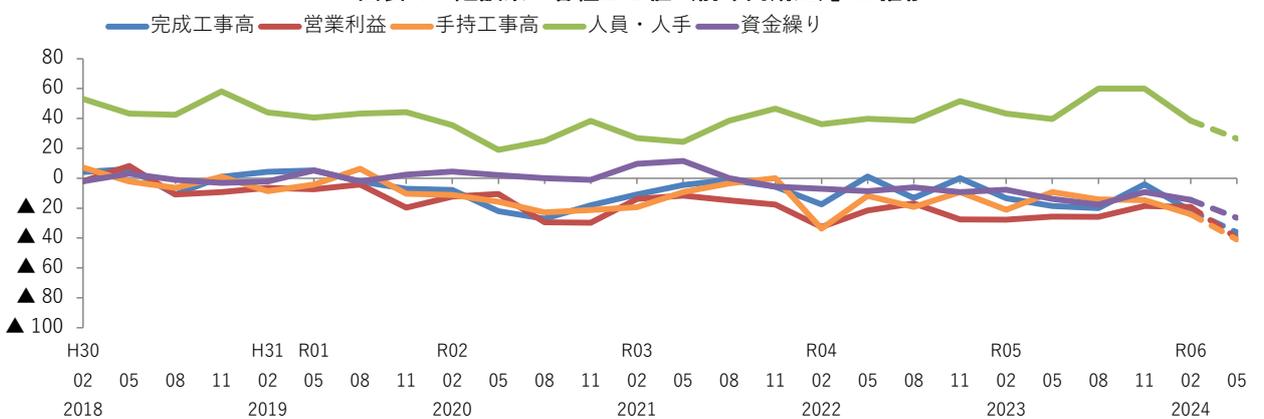
「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲30.1（前回調査比 19.4 ポイント下落）と、前期の好転から大幅に悪化の動きとなっている。「各種 D I 値（前年同期比）」をみると、「完成工事高」「営業利益」「手持工事高」「資金繰り」の 4 項目で悪化となり、「人員・人手」はプラス幅が縮小した。各社のコメントによると、公共工事や住宅新築の減少傾向に加え、引き続き資材価格等の高騰から利益の確保に苦慮しており、収益環境は依然厳しい状況にあることがうかがえる。また、一部資材の供給不足や納期遅れが発生しており、今後の動向が懸念されている。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲39.8（今回調査比 9.7 ポイント下落）と悪化が見込まれている。

図表 4 建設業「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 5 建設業「各種 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

建設業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			完成 工事高	営業 利益	手持 工事高	人員 人手	資金 繰り
	前回調査比	前回調査予測						
R 05. 02 (n=90)	▲ 24. 4	(▲ 12. 9)	▲ 27. 6	▲ 13. 4	▲ 27. 7	▲ 21. 1	43. 3	▲ 7. 7
R 05. 05 (n=86)	▲ 18. 6	(5. 8)	▲ 36. 6	▲ 18. 6	▲ 25. 6	▲ 9. 3	39. 6	▲ 13. 9
R 05. 08 (n=85)	▲ 23. 5	(▲ 4. 9)	▲ 26. 7	▲ 20. 0	▲ 25. 8	▲ 14. 1	60. 0	▲ 17. 6
R 05. 11 (n=75)	▲ 10. 7	(12. 8)	▲ 7. 1	▲ 4. 0	▲ 18. 6	▲ 14. 6	60. 0	▲ 9. 3
R 06. 02 (n=83)	▲ 30. 1	(▲ 19. 4)	▲ 40. 0	▲ 21. 7	▲ 19. 2	▲ 24. 1	38. 6	▲ 14. 5
前回調査比	-	-	-	(▲ 17. 7)	(▲ 0. 6)	(▲ 9. 5)	(▲ 21. 4)	(▲ 5. 2)
先行き見通し	▲ 39. 8	-	-	▲ 36. 2	▲ 39. 8	▲ 41. 0	26. 5	▲ 26. 5
今回調査比	(▲ 9. 7)	-	-	(▲ 14. 5)	(▲ 20. 6)	(▲ 16. 9)	(▲ 12. 1)	(▲ 12. 0)

② 製造業

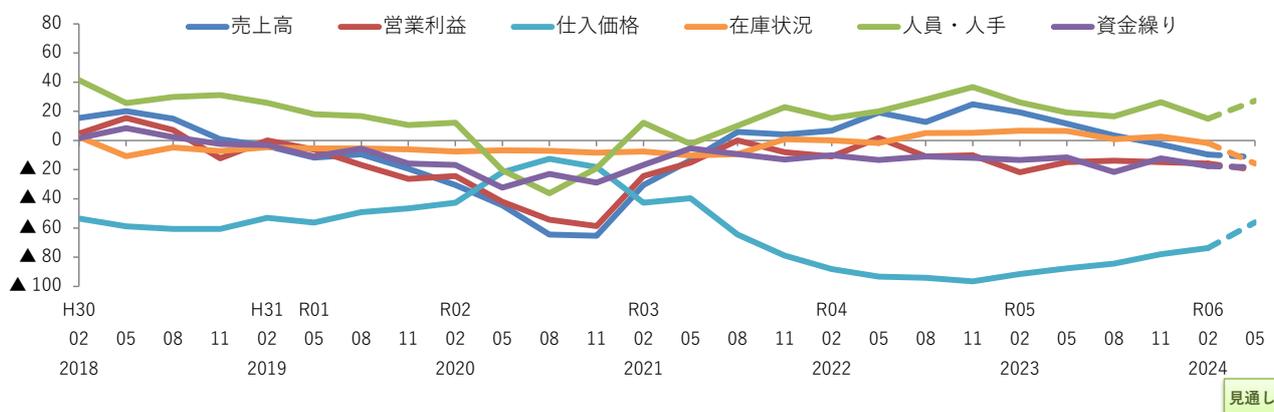
「自社の業況DI値（前年同期比）」は▲15.8（前回調査比 7.9 ポイント下落）と、前期の後退から悪化の動きとなっている。「各種DI値（前年同期比）」をみると、「仕入価格」は改善、「売上高」「営業利益」「在庫状況」「資金繰り」の4項目は悪化となり、「在庫状況」はマイナスに転じた。「人員・人手」は2期ぶりにプラス幅が縮小した。各社のコメントから、一部自動車や半導体関連で弱い動きとなっており、総じて原材料費や光熱費などコスト上昇による利益圧迫が続いている状況がうかがえた。また、価格転嫁の進捗状況は企業間でばらつきがみられ、今後の人件費や運賃上昇を踏まえ、複数社が課題として挙げている。

業況の先行き見通しは、「自社の業況DI値（前年同期比）」が▲7.1（今回調査比 8.7 ポイント上昇）と改善が見込まれている。

図表 6 製造業「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



図表 7 製造業「各種DI値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況DI値

製造業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	仕入価格	在庫状況	人員 人手	資金繰り
	前回調査比	前回調査予測							
R 05. 02 (n=119)	7.5	(▲ 4.5)	▲ 2.6	19.3	▲ 21.8	▲ 91.6	6.7	26.1	▲ 13.4
R 05. 05 (n=121)	3.3	(▲ 4.2)	▲ 18.5	11.6	▲ 14.8	▲ 87.6	6.6	19.1	▲ 11.6
R 05. 08 (n=115)	▲ 8.7	(▲ 12.0)	▲ 8.2	3.5	▲ 13.9	▲ 84.4	0.9	16.6	▲ 21.7
R 05. 11 (n=114)	▲ 7.9	(0.8)	▲ 12.2	▲ 2.7	▲ 14.9	▲ 78.0	2.6	26.3	▲ 12.3
R 06. 02 (n=114)	▲ 15.8	(▲ 7.9)	▲ 7.9	▲ 9.7	▲ 15.8	▲ 73.7	▲ 1.8	14.9	▲ 17.6
前回調査比	-	-	-	(▲ 7.0)	(▲ 0.9)	(4.3)	(▲ 4.4)	(▲ 11.4)	(▲ 5.3)
先行き見通し	▲ 7.1	-	-	▲ 11.4	▲ 20.1	▲ 56.1	▲ 15.8	27.2	▲ 18.4
今回調査比	(8.7)	-	-	(▲ 1.7)	(▲ 4.3)	(17.6)	(▲ 14.0)	(12.3)	(▲ 0.8)

③ 卸・小売業

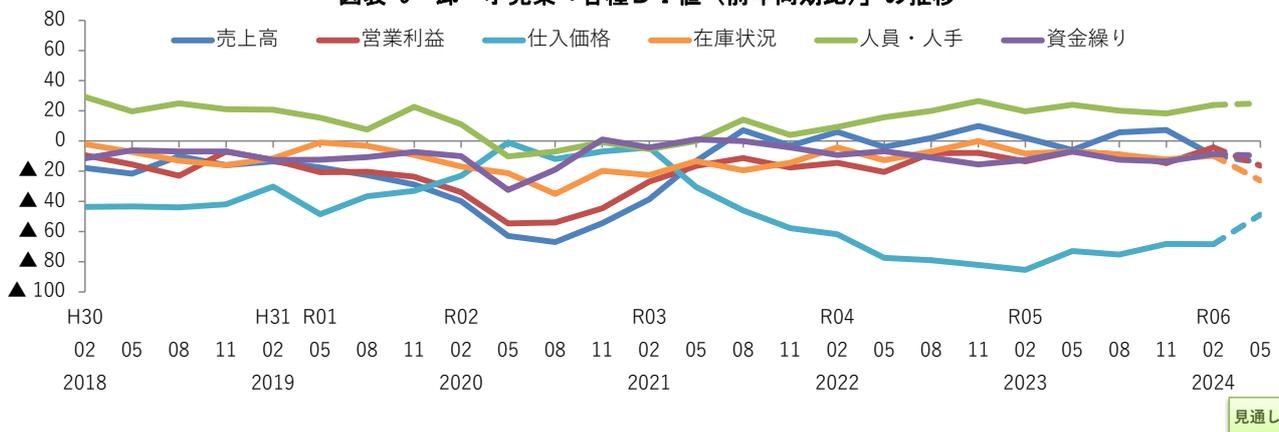
「自社の業況DI値（前年同期比）」は▲18.5（前回調査比 7.5 ポイント下落）と 2 期連続の悪化となった。「各種DI値（前年同期比）」をみると、「仕入価格」はほぼ横ばい、「営業利益」「在庫状況」「資金繰り」の 3 項目は改善、「売上高」はマイナスに転じ、大幅に悪化となった。「人員・人手」は 3 期ぶりにプラス幅が拡大した。各社のコメントによると、一部飲食店向けの卸売業で業況の改善がみられたものの、小売業においては、消費者の節約意識の高まりが感じられ、嗜好品は買い控えの動きが目立つとする内容が複数寄せられた。また、ガソリンスタンドやアパレル販売業では、暖冬の影響から売上が低下しており、先行きへの不安感につながっている。

業況の先行き見通しは、「自社の業況DI値（前年同期比）」が▲15.2（今回調査比 3.3 ポイント上昇）と改善が見込まれている。

図表 8 卸・小売業「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



図表 9 卸・小売業「各種DI値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況DI値

卸・小売業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	仕入価格	在庫状況	人員 人手	資金繰り
	前回調査比	前回調査予測							
R 05.02 (n=96)	▲ 5.2	(1.5)	▲ 22.3	2.1	▲ 13.5	▲ 85.5	▲ 8.4	19.7	▲ 12.5
R 05.05 (n=100)	▲ 3.0	(2.2)	▲ 20.8	▲ 6.0	▲ 7.0	▲ 73.0	▲ 7.0	24.0	▲ 7.0
R 05.08 (n=89)	▲ 1.1	(1.9)	▲ 1.0	5.7	▲ 9.0	▲ 75.3	▲ 9.0	20.2	▲ 12.4
R 05.11 (n=82)	▲ 11.0	(▲ 9.9)	▲ 7.9	7.3	▲ 14.6	▲ 68.3	▲ 12.2	18.3	▲ 13.5
R 06.02 (n=92)	▲ 18.5	(▲ 7.5)	▲ 7.3	▲ 9.8	▲ 4.3	▲ 68.4	▲ 9.8	23.9	▲ 8.7
	前回調査比	-	-	(▲ 17.1)	(10.3)	(▲ 0.1)	(2.4)	(5.6)	(4.8)
先行き見通し	▲ 15.2	-	-	▲ 14.1	▲ 16.3	▲ 48.9	▲ 26.1	25.0	▲ 9.8
	今回調査比	(3.3)	-	(▲ 4.3)	(▲ 12.0)	(19.5)	(▲ 16.3)	(1.1)	(▲ 1.1)

④ サービス業

「自社の業況DI値（前年同期比）」は2.6（前回調査比4.4ポイント下落）と3期連続の悪化となった。「各種DI値（前年同期比）」をみると、「売上高」と「営業利益」は改善、「資金繰り」は悪化となった。「人員・人手」は2期ぶりにプラス幅が縮小した。各社のコメントから、一部宿泊業ではインバウンド観光客が増加しているなど、好調な状況がうかがえた。一方で、光熱費や人件費上昇によるコスト高は続いており、総じてみれば収益環境は依然厳しい。また、4月から開始する時間外労働時間の上限規制適用に関して、運送業では売上減少を、その他の業種ではさらなるコスト増加を懸念しているとする内容も複数寄せられた。

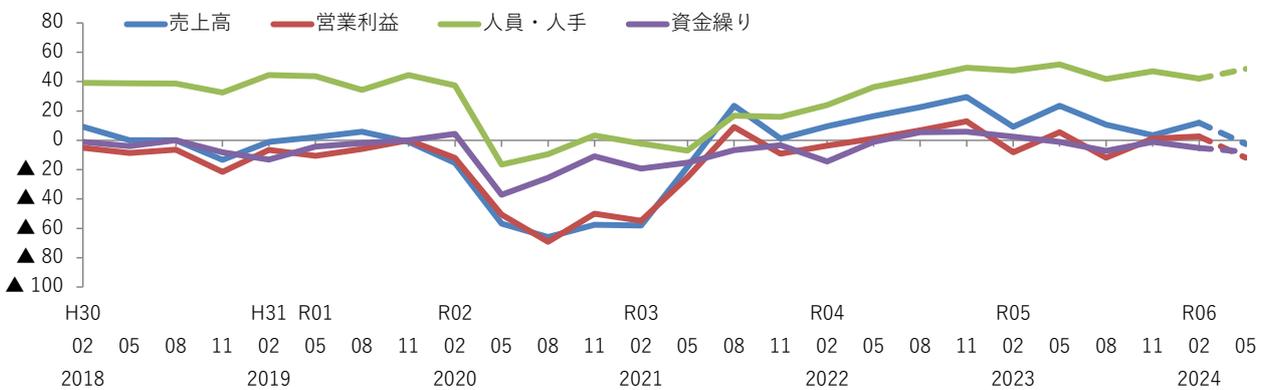
業況の先行き見通しは、「自社の業況DI値（前年同期比）」が▲1.3（今回調査比3.9ポイント下落）と悪化が見込まれている。

図表 10 サービス業「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



見通し

図表 11 サービス業「各種DI値（前年同期比）」の推移



見通し

前年同期比の自社業況DI値

サービス業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	人員 人手	資金 繰り
	前回調査比	前回調査予測					
R 05.02 (n=86)	3.5	(▲ 17.7)	▲ 7.1	9.3	▲ 8.1	47.6	2.4
R 05.05 (n=89)	20.2	(16.7)	0.0	23.6	5.6	51.7	▲ 1.1
R 05.08 (n=84)	8.4	(▲ 11.8)	6.8	10.7	▲ 11.9	41.7	▲ 7.2
R 05.11 (n=85)	7.0	(▲ 1.4)	3.6	3.5	1.2	47.0	▲ 1.1
R 06.02 (n=76)	2.6	(▲ 4.4)	▲ 2.4	11.9	2.7	42.1	▲ 5.3
前回調査比	-	-	-	(8.4)	(1.5)	(▲ 4.9)	(▲ 4.2)
先行き見通し	▲ 1.3	-	-	▲ 2.6	▲ 11.8	48.7	▲ 7.9
今回調査比	(▲ 3.9)	-	-	(▲ 14.5)	(▲ 14.5)	(6.6)	(▲ 2.6)

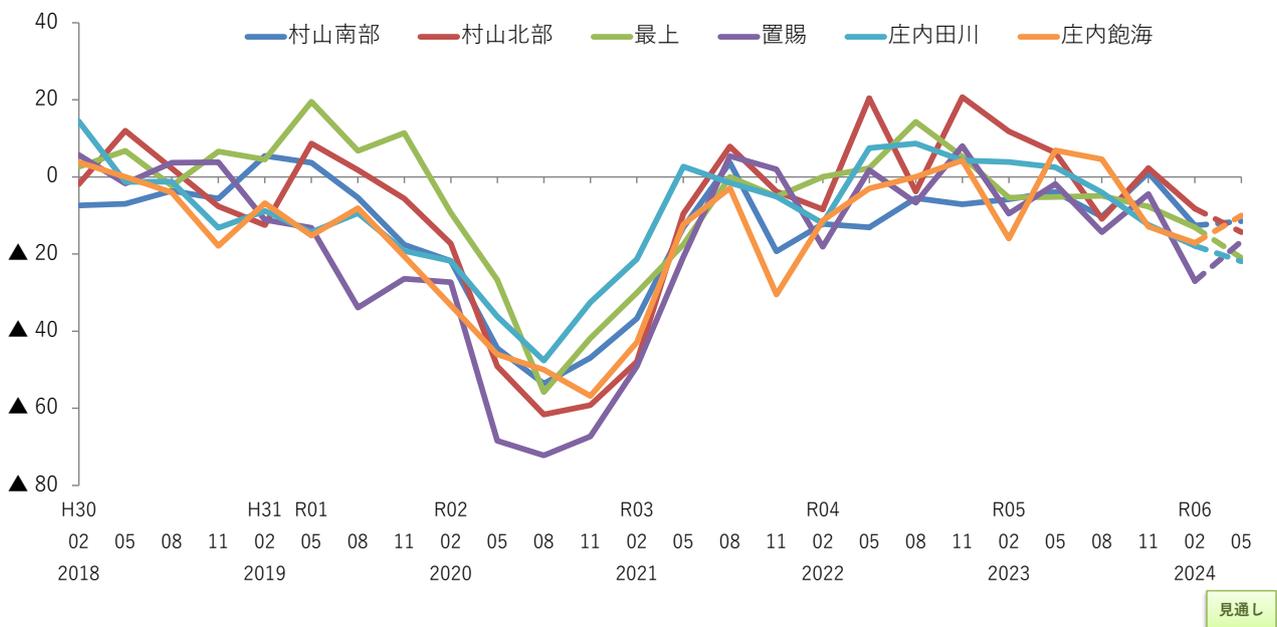
3. 地域別の動向

(1) 地域別の概況

地域別に「自社の業況DI値（前年同期比）」をみると、村山南部が▲12.6（前回調査比 13.7 ポイント下落）、村山北部が▲8.2（前回調査比 10.5 ポイント下落）、最上が▲13.1（前回調査比 5.4 ポイント下落）、置賜が▲27.0（前回調査比 22.6 ポイント下落）、庄内田川が▲17.9（前回調査比 5.5 ポイント下落）、庄内飽海が▲17.1（前回調査比 4.2 ポイント下落）と、すべての地域で悪化となった。村山南部、村山北部の2地域でDI値がマイナスに転じた。

業況の先行き見通しをみると、村山南部、置賜、庄内飽海の3地域で改善、村山北部、最上、庄内田川の3地域で悪化が見込まれている。

図表 12 地域別「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況DI値

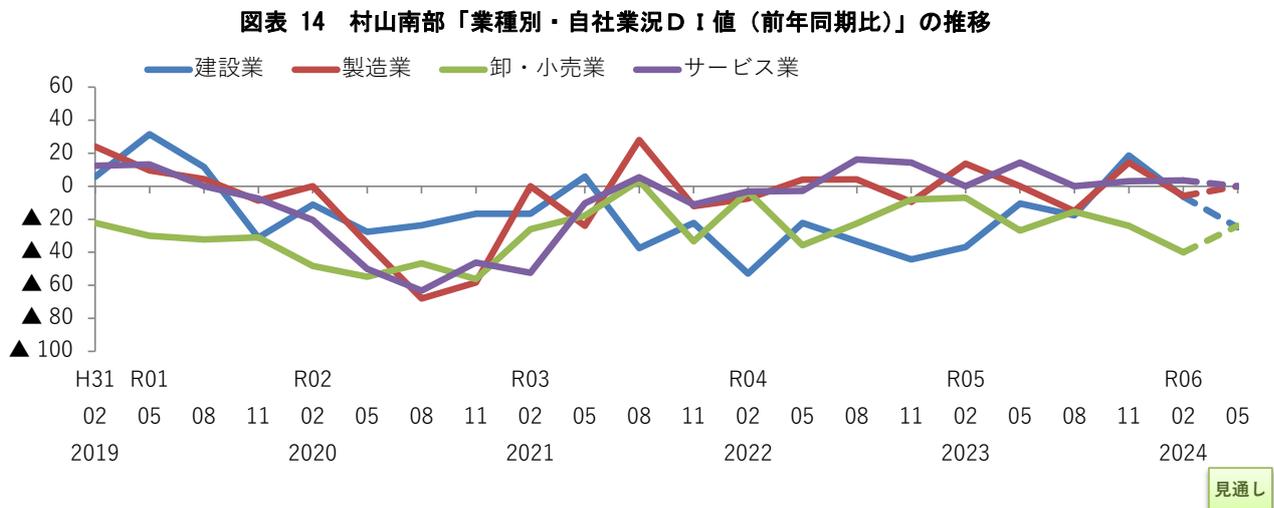
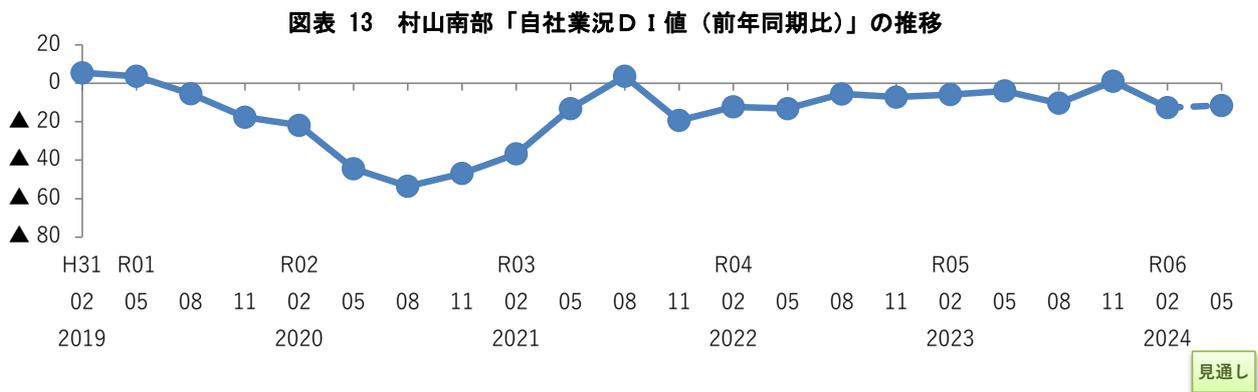
地域別 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）						
	全地域	村山南部	村山北部	最上	置賜	庄内田川	庄内飽海
R 05. 02 (n=391)	▲ 3.8	▲ 5.8	11.8	▲ 5.4	▲ 9.5	3.9	▲ 16.0
R 05. 05 (n=396)	0.8	▲ 3.9	6.3	▲ 5.2	▲ 1.8	2.5	6.9
R 05. 08 (n=373)	▲ 6.4	▲ 10.3	▲ 10.9	▲ 4.9	▲ 14.3	▲ 4.0	4.6
R 05. 11 (n=356)	▲ 5.6	1.1	2.3	▲ 7.7	▲ 4.4	▲ 12.4	▲ 12.9
R 06. 02 (n=365)	▲ 15.9	▲ 12.6	▲ 8.2	▲ 13.1	▲ 27.0	▲ 17.9	▲ 17.1
前回調査比	(▲ 10.3)	(▲ 13.7)	(▲ 10.5)	(▲ 5.4)	(▲ 22.6)	(▲ 5.5)	(▲ 4.2)
先行き見通し	▲ 15.4	▲ 11.5	▲ 14.3	▲ 21.0	▲ 16.7	▲ 21.9	▲ 10.0
今回調査比	(0.5)	(1.1)	(▲ 6.1)	(▲ 7.9)	(10.3)	(▲ 4.0)	(7.1)

(2) 地域別 D I 値の動向

① 村山南部

「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲12.6（前回調査比 13.7 ポイント上昇）と前期の好転から悪化の動きとなり、マイナスに転じた。業種別にみると、サービス業はほぼ横ばい、その他の 3 業種で大幅に悪化となり、建設業と製造業で D I 値がマイナスに転じた。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲11.5（今回調査比 1.1 ポイント上昇）と改善の見込みとなっている。



前年同期比の自社業況 D I 値

村山南部 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製造	卸・小売	サービス
R 05. 02 (n=104)	▲ 5. 8	(1. 3)	▲ 20. 2	▲ 36. 9	13. 7	▲ 6. 9	0. 0
R 05. 05 (n=103)	▲ 3. 9	(1. 9)	▲ 21. 1	▲ 10. 5	0. 0	▲ 26. 9	14. 3
R 05. 08 (n=97)	▲ 10. 3	(▲ 6. 4)	▲ 4. 9	▲ 17. 6	▲ 15. 0	▲ 15. 4	0. 0
R 05. 11 (n=94)	1. 1	(11. 4)	▲ 10. 3	18. 7	14. 3	▲ 24. 0	3. 1
R 06. 02 (n=87)	▲ 12. 6	(▲ 13. 7)	▲ 11. 7	▲ 6. 3	▲ 5. 9	▲ 40. 0	3. 5
前回調査比	-	-	-	(▲ 25. 0)	(▲ 20. 2)	(▲ 16. 0)	(0. 4)
先行き見通し	▲ 11. 5	-	-	▲ 25. 0	0. 0	▲ 24. 0	0. 0
今回調査比	(1. 1)	-	-	(▲ 18. 7)	(5. 9)	(16. 0)	(▲ 3. 5)

② 村山北部

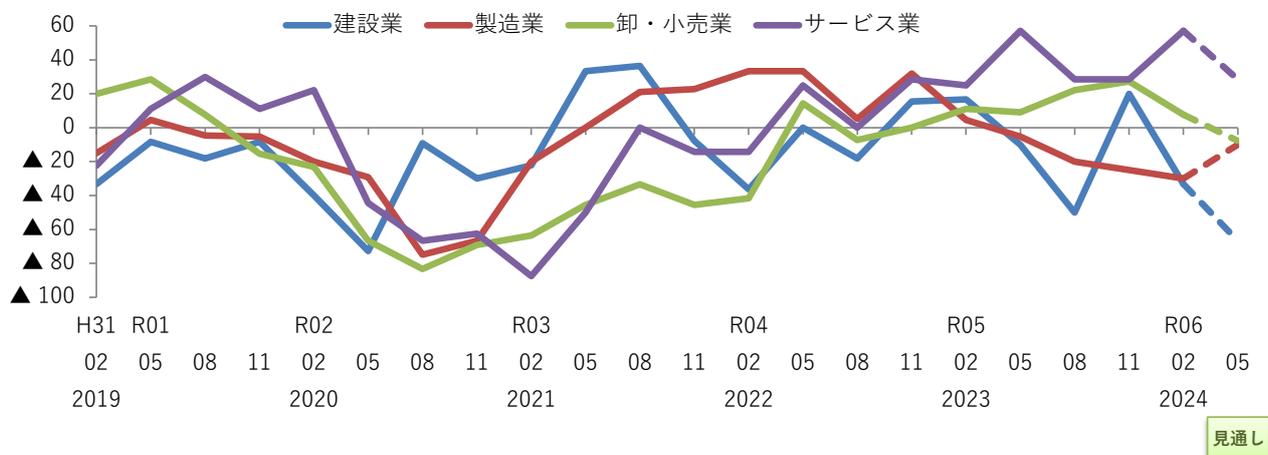
「自社の業況DI値（前年同期比）」は▲8.2（前回調査比 10.5 ポイント下落）と前期の好転から悪化の動きとなり、マイナスに転じた。業種別にみると、サービス業は改善となった一方、その他の3業種は悪化となり、建設業はDI値がマイナスに転じた。

業況の先行き見通しは、「自社の業況DI値（前年同期比）」が▲14.3（今回調査比 6.1 ポイント下落）と悪化が見込まれている。

図表 15 村山北部「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



図表 16 村山北部「業種別・自社業況DI値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況DI値

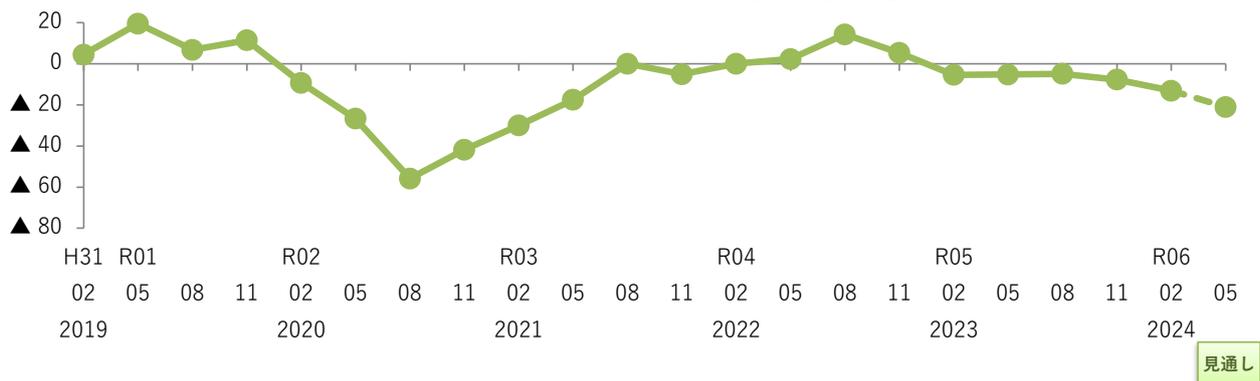
村山北部 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製造	卸・小売	サービス
R 05. 02 (n=51)	11.8	(▲ 8.9)	▲ 9.4	16.7	4.5	11.1	25.0
R 05. 05 (n=47)	6.3	(▲ 5.5)	▲ 9.8	▲ 10.0	▲ 5.2	9.1	57.1
R 05. 08 (n=46)	▲ 10.9	(▲ 17.2)	▲ 6.4	▲ 50.0	▲ 20.0	22.2	28.6
R 05. 11 (n=43)	2.3	(13.2)	▲ 2.2	20.0	▲ 25.0	27.3	28.6
R 06. 02 (n=49)	▲ 8.2	(▲ 10.5)	▲ 9.3	▲ 33.3	▲ 30.0	7.7	57.1
前回調査比	-	-	-	(▲ 53.3)	(▲ 5.0)	(▲ 19.6)	(28.5)
先行き見通し	▲ 14.3	-	-	▲ 66.7	▲ 10.0	▲ 7.7	28.6
今回調査比	(▲ 6.1)	-	-	(▲ 33.4)	(20.0)	(▲ 15.4)	(▲ 28.5)

③ 最上

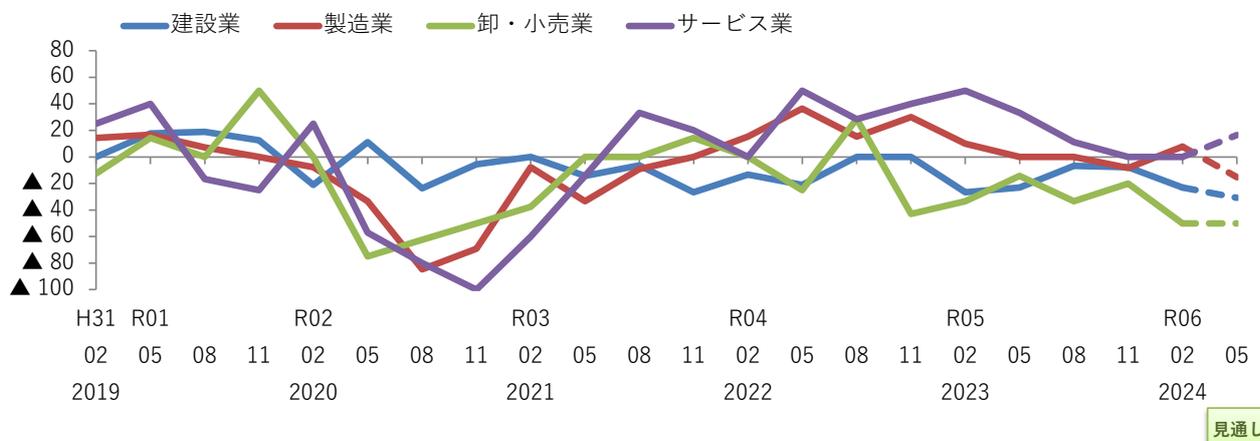
「自社の業況DI値（前年同期比）」は▲13.1（前回調査比 5.4 ポイント下落）と 2 期連続の悪化となっている。業種別にみると、サービス業は横ばい、製造業はDI値がプラスに転じて大幅に改善となり、建設業と卸・小売業は大幅に悪化となった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況DI値（前年同期比）」が▲21.0（今回調査比 7.9 ポイント下落）と悪化の見込みとなっている。

図表 17 最上「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



図表 18 最上「業種別・自社業況DI値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況DI値

最上 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製造	卸・小売	サービス
R 05.02 (n=37)	▲ 5.4	(▲ 10.7)	▲ 23.6	▲ 26.7	10.0	▲ 33.3	50.0
R 05.05 (n=39)	▲ 5.2	(0.2)	▲ 27.0	▲ 23.1	0.0	▲ 14.3	33.3
R 05.08 (n=41)	▲ 4.9	(0.3)	▲ 15.4	▲ 6.7	0.0	▲ 33.3	11.1
R 05.11 (n=39)	▲ 7.7	(▲ 2.8)	▲ 7.4	▲ 7.7	▲ 8.4	▲ 20.0	0.0
R 06.02 (n=38)	▲ 13.1	(▲ 5.4)	▲ 15.4	▲ 23.1	7.7	▲ 50.0	0.0
前回調査比	-	-	-	(▲ 15.4)	(16.1)	(▲ 30.0)	(0.0)
先行き見通し	▲ 21.0	-	-	▲ 30.8	▲ 15.4	▲ 50.0	16.6
今回調査比	(▲ 7.9)	-	-	(▲ 7.7)	(▲ 23.1)	(0.0)	(16.6)

④ 置 賜

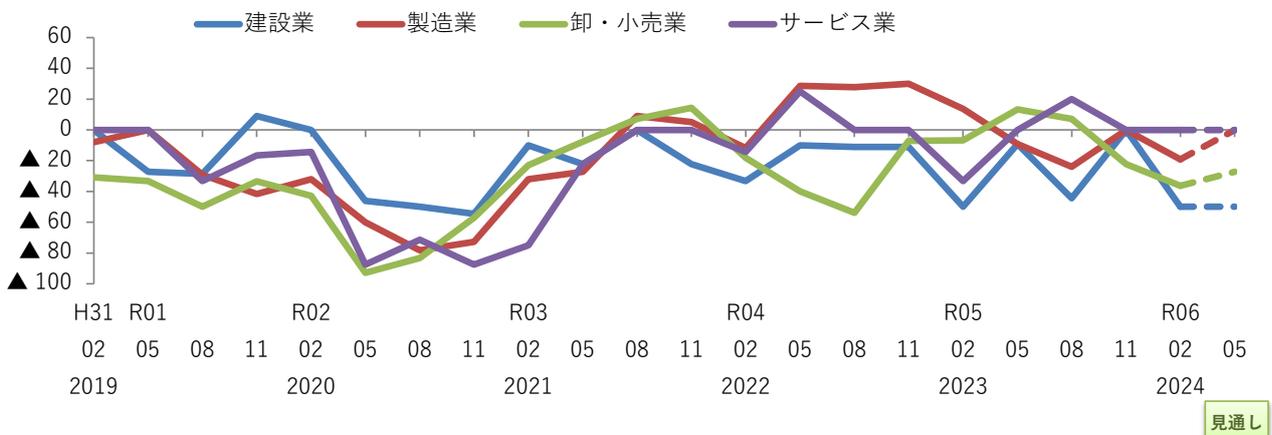
「自社の業況DI値（前年同期比）」は▲27.0（前回調査比 22.6 ポイント下落）と前期の好転から大幅に悪化の動きとなった。業種別にみると、サービス業は横ばい、その他の3業種で悪化となった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況DI値（前年同期比）」が▲16.7（今回調査比 10.3 ポイント上昇）と改善が見込まれている。

図表 19 置賜「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



図表 20 置賜「業種別・自社業況DI値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況DI値

置 賜 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製造	卸・小売	サービス
R 05.02 (n=53)	▲ 9.5	(▲ 17.5)	▲ 12.0	▲ 50.0	13.6	▲ 6.7	▲ 33.3
R 05.05 (n=54)	▲ 1.8	(7.7)	▲ 26.4	▲ 9.1	▲ 9.1	13.3	0.0
R 05.08 (n=49)	▲ 14.3	(▲ 12.5)	1.8	▲ 44.5	▲ 23.9	7.2	20.0
R 05.11 (n=45)	▲ 4.4	(9.9)	▲ 12.3	0.0	0.0	▲ 22.2	0.0
R 06.02 (n=48)	▲ 27.0	(▲ 22.6)	▲ 26.7	▲ 50.0	▲ 19.1	▲ 36.3	0.0
前回調査比	-	-	-	(▲ 50.0)	(▲ 19.1)	(▲ 14.1)	(0.0)
先行き見通し	▲ 16.7	-	-	▲ 50.0	0.0	▲ 27.3	0.0
今回調査比	(10.3)	-	-	(0.0)	(19.1)	(9.0)	(0.0)

⑤ 庄内田川

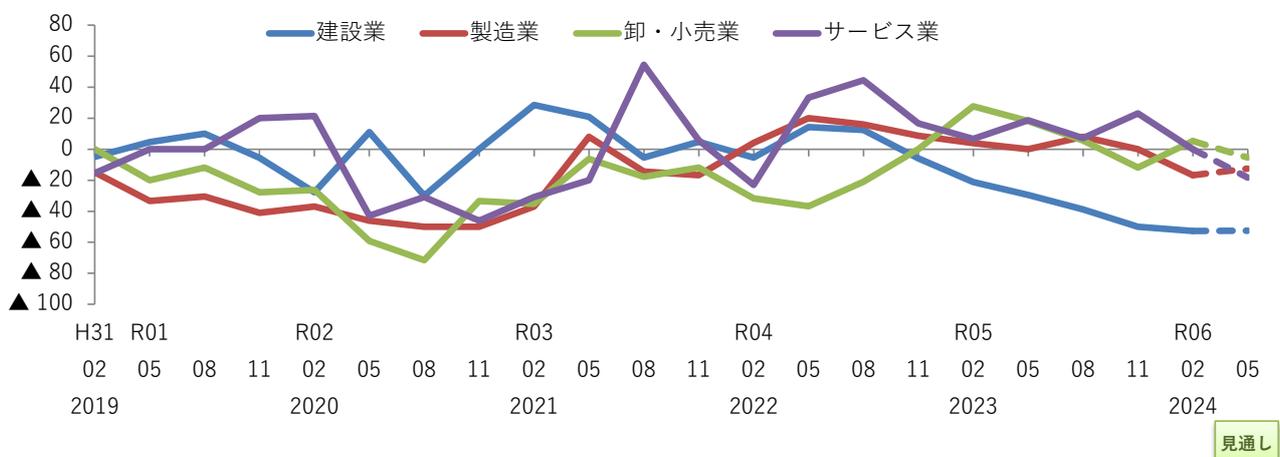
「自社の業況DI値（前年同期比）」は▲17.9（前回調査比 5.5 ポイント下落）と 6 期連続の悪化となっている。業種別にみると、卸・小売業はDI値がプラスに転じて大幅に改善となった一方、その他の3業種は悪化となった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況DI値（前年同期比）」が▲21.9（今回調査比 4.0 ポイント下落）と悪化の見込みとなっている。

図表 21 庄内田川「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



図表 22 庄内田川「業種別・自社業況DI値（前年同期比）」の推移



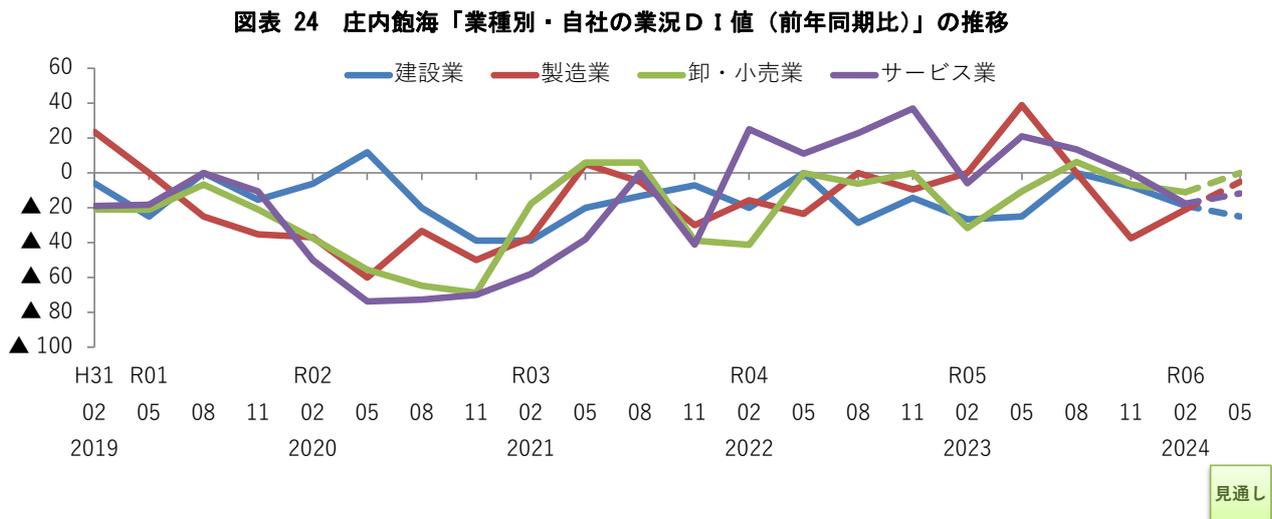
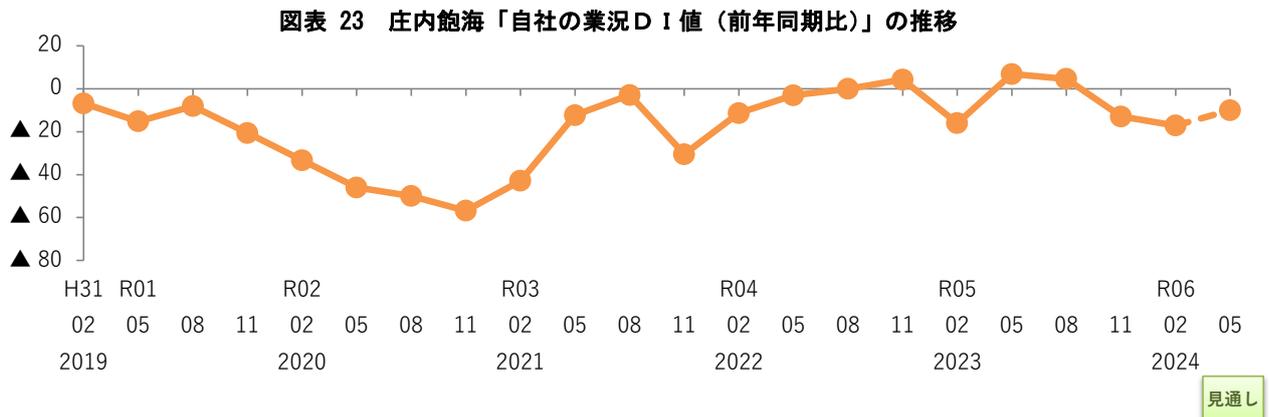
前年同期比の自社業況DI値

庄内田川 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製造	卸・小売	サービス
R 05.02 (n=77)	3.9	(▲ 0.4)	▲ 2.8	▲ 21.1	4.0	27.7	6.7
R 05.05 (n=81)	2.5	(▲ 1.4)	▲ 13.0	▲ 29.4	0.0	18.2	18.7
R 05.08 (n=75)	▲ 4.0	(▲ 6.5)	▲ 6.2	▲ 38.8	8.0	5.6	7.1
R 05.11 (n=73)	▲ 12.4	(▲ 8.4)	▲ 2.7	▲ 50.0	0.0	▲ 11.8	23.1
R 06.02 (n=73)	▲ 17.9	(▲ 5.5)	▲ 8.2	▲ 52.7	▲ 16.7	5.3	0.0
前回調査比	-	-	-	(▲ 2.7)	(▲ 16.7)	(17.1)	(▲ 23.1)
先行き見通し	▲ 21.9	-	-	▲ 52.6	▲ 12.5	▲ 5.3	▲ 18.2
今回調査比	(▲ 4.0)	-	-	(0.1)	(4.2)	(▲ 10.6)	(▲ 18.2)

⑥ 庄内飽海

「自社の業況DI値（前年同期比）」は▲17.1（前回調査比 4.2 ポイント下落）と 3 期連続の悪化となっている。業種別にみると、製造業で大幅に改善となった一方、その他の 3 業種で悪化となった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況DI値（前年同期比）」が▲10.0（今回調査比 7.1 ポイント上昇）と改善の見込みとなっている。



前年同期比の自社業況DI値

庄内飽海 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製造	卸・小売	サービス
R 05. 02 (n=69)	▲ 16.0	(▲ 20.3)	▲ 16.0	▲ 26.7	0.0	▲ 31.6	▲ 5.9
R 05. 05 (n=72)	6.9	(22.9)	▲ 20.3	▲ 25.0	38.9	▲ 10.6	21.0
R 05. 08 (n=65)	4.6	(▲ 2.3)	▲ 13.9	0.0	0.0	6.2	13.4
R 05. 11 (n=62)	▲ 12.9	(▲ 17.5)	▲ 3.1	▲ 7.7	▲ 37.5	▲ 6.7	0.0
R 06. 02 (n=70)	▲ 17.1	(▲ 4.2)	▲ 12.9	▲ 18.8	▲ 21.0	▲ 11.1	▲ 17.7
前回調査比	-	-	-	(▲ 11.1)	(16.5)	(▲ 4.4)	(▲ 17.7)
先行き見通し	▲ 10.0	-	-	▲ 25.0	▲ 5.2	0.0	▲ 11.8
今回調査比	(7.1)	-	-	(▲ 6.2)	(15.8)	(11.1)	(5.9)

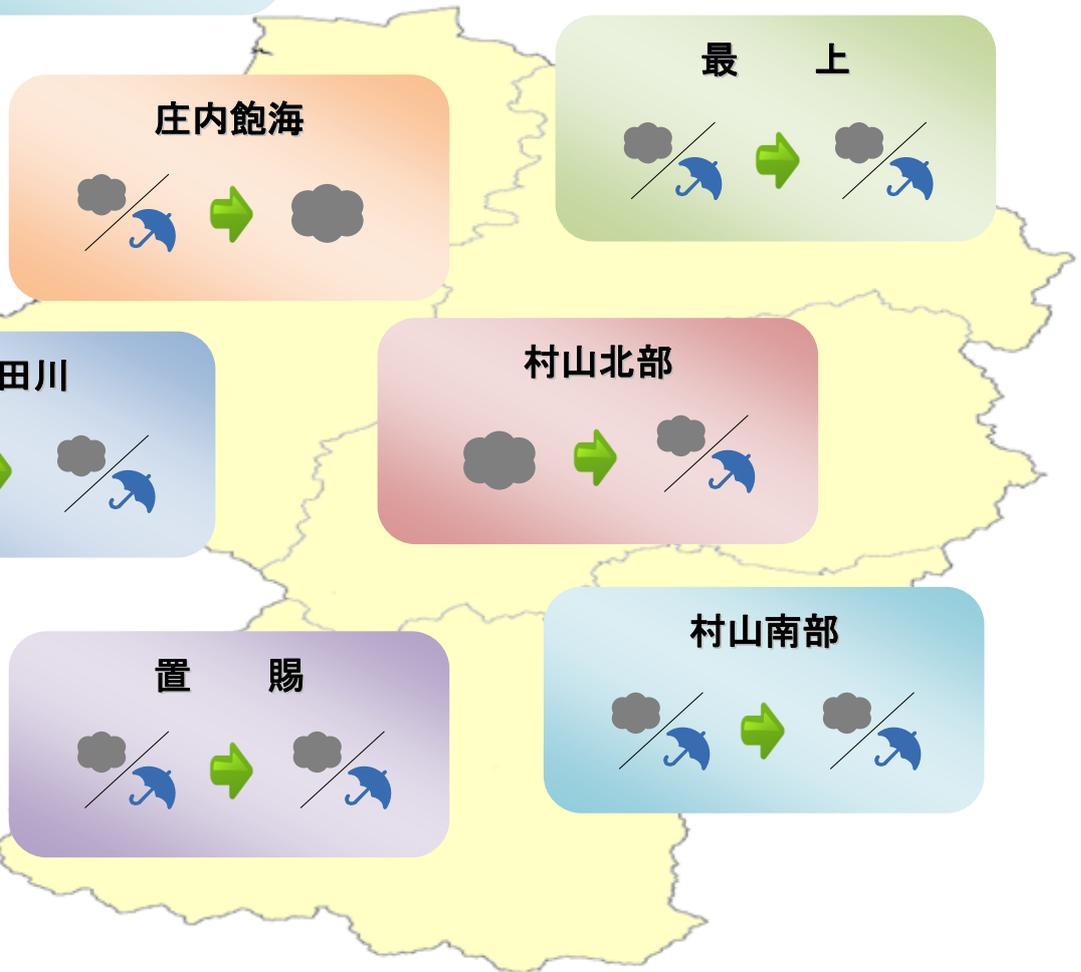
II. 景気天気予報図

【天気図の凡例】

特に好調	好調	まあまあ	不振	きわめて不振
$D \geq 30$	$30 > D \geq 10$	$10 > D \geq \Delta 10$	$\Delta 10 > D \geq \Delta 30$	$\Delta 30 > D$

山形県

今期の業況 → 来期の見通し



今期の概況

	山形県	村山南部	村山北部	最上	置賜	庄内田川	庄内飽海
全業種							
建設業							
製造業							
卸・小売業							
サービス業							

来期の見通し

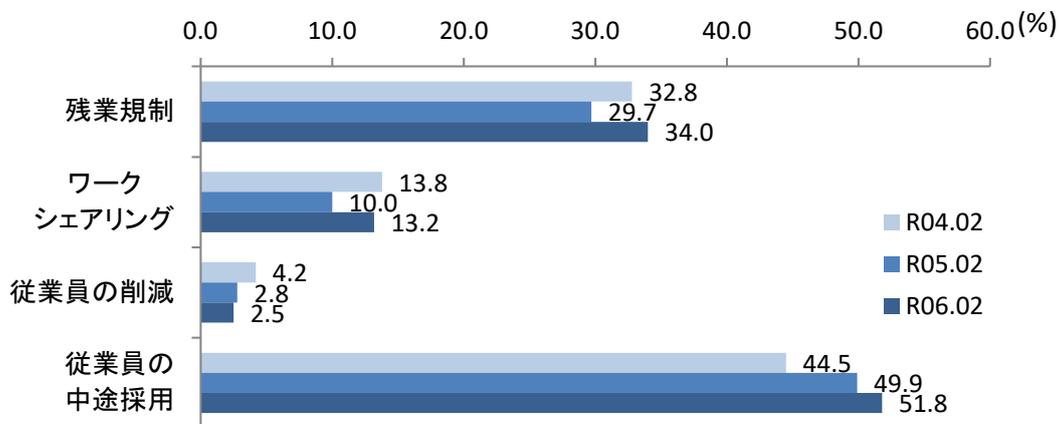
	山形県	村山南部	村山北部	最上	置賜	庄内田川	庄内飽海
全業種							
建設業							
製造業							
卸・小売業							
サービス業							

III. 特別調査

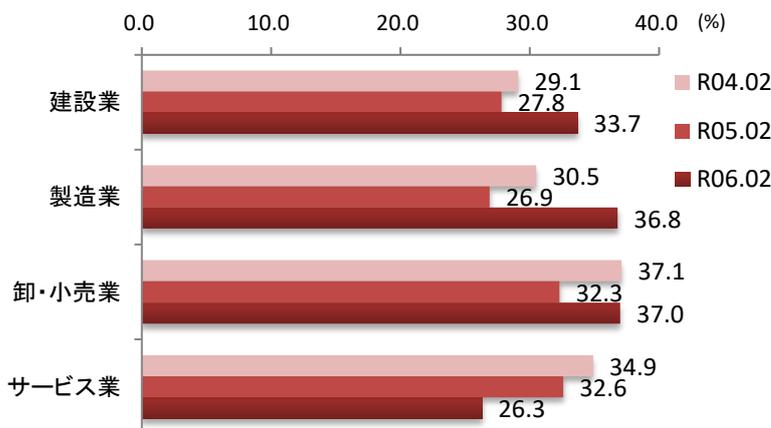
1. 雇用調整について

令和 5 年度に実施した（あるいは実施している）雇用調整について尋ねたところ、「残業規制」が 34.0%（昨年比 4.3 ポイント上昇）、「ワークシェアリング」が 13.2%（昨年比 3.2 ポイント上昇）、「従業員の削減」が 2.5%（昨年比 0.3 ポイント低下）、「従業員の中途採用」が 51.8%（昨年比 1.9 ポイント上昇）と、昨年に比べ、「残業規制」「ワークシェアリング」「従業員の中途採用」の割合は上昇し、「従業員の削減」の割合は低下した。

図表 25 雇用調整の実施状況

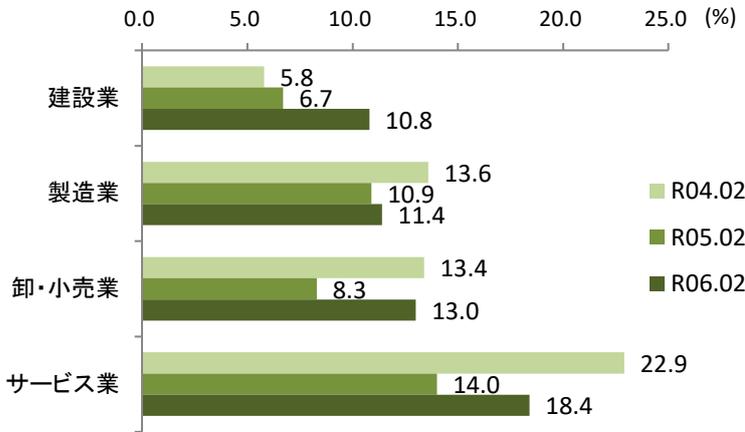


図表 26 業種別「残業規制」の実施状況



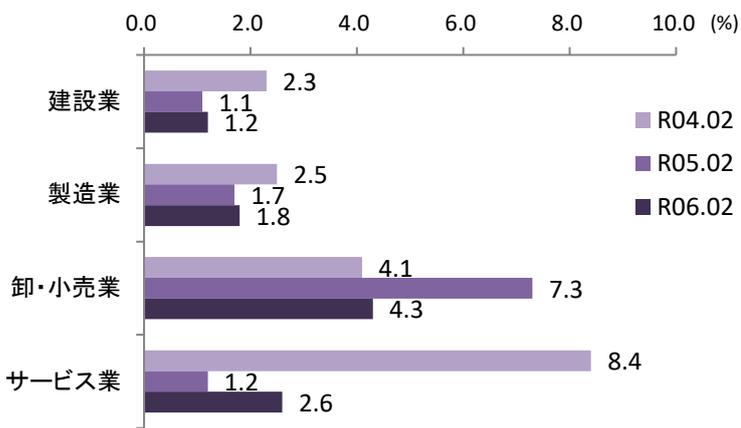
「残業規制」の実施割合を業種別にみると、昨年に比べ、サービス業で低下となった一方、その他の 3 業種で上昇となった。

図表 27 業種別「ワークシェアリング」の実施状況



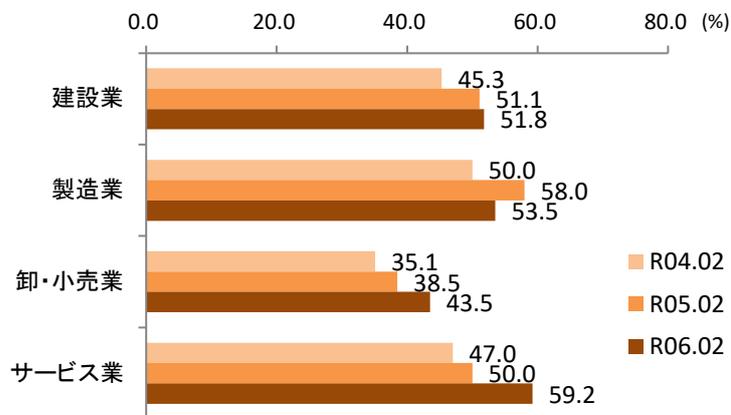
「ワークシェアリング」の実施割合を業種別にみると、昨年に比べ、すべての業種で上昇となった。

図表 28 業種別「従業員の削減」の実施状況



「従業員の削減」の実施割合を業種別にみると、昨年に比べ、卸・小売業で低下となった一方、その他の3業種で上昇となった。

図表 29 業種別「従業員の中途採用」の実施状況

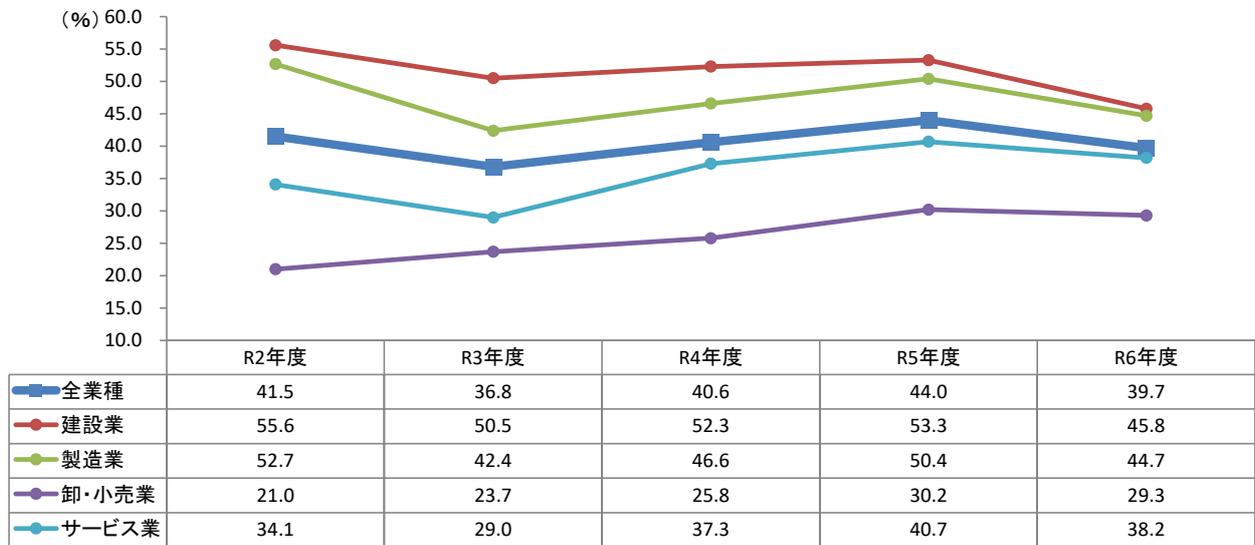


「従業員の中途採用」の実施割合を業種別にみると、昨年に比べ、製造業で低下となった一方、その他の3業種で上昇となった。

2. 新卒者の採用状況について

来年度（令和 6 年度）の新卒者の採用状況（採用するかどうか）について尋ねたところ、採用すると答えた企業の割合は、全業種でみると 39.7%（昨年調査比 4.3 ポイント低下）と 3 年ぶりに低下となった。業種別にみると、建設業が 45.8%（昨年調査比 7.5 ポイント低下）、製造業が 44.7%（昨年調査比 5.7 ポイント低下）、卸・小売業が 29.3%（昨年調査比 0.9 ポイント低下）、サービス業が 38.2%（昨年調査比 2.5 ポイント低下）と、すべての業種で低下となった。

図表 30 業種別「新卒者の採用状況」の推移



<参考資料Ⅰ：地域別・業種別回答率>

(サンプル数：社)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合計
村山南部	22	33	42	50	147
村山北部	20	30	17	16	83
最上	21	18	9	17	65
置賜	23	27	25	11	86
庄内田川	29	37	28	28	122
庄内飽海	32	32	31	35	130
合計	147	177	152	157	633

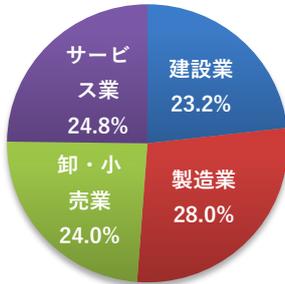
(回答数：社)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合計
村山南部	16	17	25	29	87
村山北部	9	20	13	7	49
最上	13	13	6	6	38
置賜	10	21	11	6	48
庄内田川	19	24	19	11	73
庄内飽海	16	19	18	17	70
合計	83	114	92	76	365

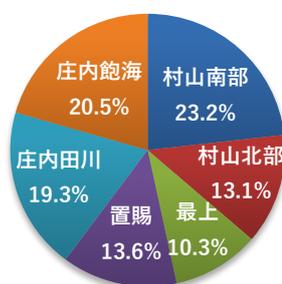
(回答率：%)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合計
村山南部	72.7	51.5	59.5	58.0	59.2
村山北部	45.0	66.7	76.5	43.8	59.0
最上	61.9	72.2	66.7	35.3	58.5
置賜	43.5	77.8	44.0	54.5	55.8
庄内田川	65.5	64.9	67.9	39.3	59.8
庄内飽海	50.0	59.4	58.1	48.6	53.8
合計	56.5	64.4	60.5	48.4	57.7

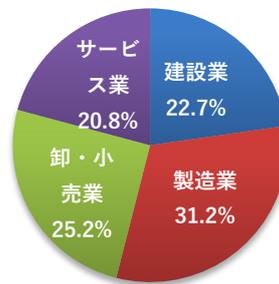
サンプル割合（業種別）



サンプル割合（地域別）



回答社割合（業種別）



回答社割合（地域別）



<参考資料Ⅱ：調査の概要>

● 調査の目的

県内に本社を置いて企業活動を営む法人企業を対象に、各社の業況の現状と今後の見通しに関する判断を調査し、県内の景気動向について把握するために実施した

● 調査の方法

インターネットを利用したアンケート調査（一部FAXを利用）

● 調査期間

令和6年2月1日(木)～15日(木)

● 地域区分

地域名	対象となる市町村名
村山南部	山形市、上山市、山辺町、中山町
村山北部	寒河江市、村山市、天童市、東根市、尾花沢市、河北町、西川町、朝日町、大江町、大石田町
最 上	新庄市、金山町、最上町、舟形町、真室川町、大蔵村、鮭川村、戸沢村
置 賜	米沢市、長井市、南陽市、高畠町、川西町、小国町、白鷹町、飯豊町
庄内田川	鶴岡市、庄内町、三川町
庄内飽海	酒田市、遊佐町

● 調査の内容

アンケート調査は、各企業の業況判断について3肢択一方式を採用している。毎回必ず調査する「定例調査」と、調査時期にふさわしい経済トピックス等について調査する「特別調査」とを設けている

項 目	選択肢 (択一方式)
自社の業況 (共通項目)	1. 良い 2. さほど変わらない 3. 悪い
業界の業況 (共通項目)	1. 良い 2. さほど変わらない 3. 悪い
売上高 (建設業を除く)	1. 増えた 2. さほど変わらない 3. 減った
完成工事高 (建設業)	1. 増えた 2. さほど変わらない 3. 減った
営業利益 (共通項目)	1. 増えた 2. さほど変わらない 3. 減った
人員や人手 (共通項目)	1. 足りない 2. ちょうどよい 3. 余っている
資金繰り (共通項目)	1. 楽になった 2. さほど変わらない 3. 厳しい
原材料等の仕入価格 (製造業のみ)	1. 下がった 2. さほど変わらない 3. 上がった
製(商)品の仕入価 (卸・小売業のみ)	1. 下がった 2. さほど変わらない 3. 上がった
在庫状況 (製造業)	1. 増えた 2. さほど変わらない 3. 減った
手持工事高 (建設業)	1. 増えた 2. さほど変わらない 3. 減った

(注) 各項目とも「前年同期比」、「前期比」、「来期の見通し」について、それぞれ3肢択一方式を採用している

● 集計方法

各項目とも、現状判断、先行き見通しについてそれぞれDI値を算出する。DI値とは、Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス) の略で、算出方法は次の通り

例) 自社の業況DI値

$$= (\text{「1. 良い」と回答した企業の割合}) - (\text{「3. 悪い」と回答した企業の割合})$$

たとえば「自社の業況DI値」がプラスであれば、相対的に自社の業況が良いと判断した企業が多いことになる。また、業況の変化の方向(良くなっているか、悪くなっているか)についても分かる

ちなみに、他のDI値についても同様に、選択肢「1. 」(「調査の内容」の「選択肢」欄をご参照のこと)を選んだ企業の割合から選択肢「3. 」を選んだ企業の割合を差し引いて算出する

<お知らせ>

F S N会員専用ホームページ (<http://www.bb-town.jp/cgi-bin/fsn.cgi>) にアクセスすると、統計データの最新版をダウンロードすることができます。こちらも是非ご利用ください。なお、過去の調査レポートや統計データは当社ホームページ (https://www.fir.co.jp/report/report_y_keiki) 「調査レポート」コーナーからダウンロードすることができます。

<お問い合わせ先>

株式会社フィデア情報総研

リサーチ&コンサルティング事業本部 熊本 均 / 手塚 綾子

〒990-0043 山形県山形市本町1-4-2 1 荘銀山形ビル8F

TEL : 023-626-9017 FAX : 023-626-9038

E-mail : kenkyuu@fir.co.jp

URL : <https://www.fir.co.jp/>